

## 記 入 要 項

### 共 通 事 項

年月の標記：西暦で記入してください。(例:2014年)

頁数：右下に記入してください。(例: 1/1頁)

### 履 歴 書

#### 「 学 歴 」 欄

1. 高等学校卒業以上の学歴のすべてについて記入してください。  
なお、学位、称号についてもこの欄に記入してください。修士・博士の学位については、付記された専攻分野の名称および学位論文の題目を併記してください。  
博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。  
学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入してください。
2. 大学の専攻科、別科についてはこの欄に記入してください。研究生、助手等は「 職 歴 」 欄に記入してください。
3. 学生としての国外留学はこの欄に、研究者としての国外留学は「 職 歴 」 欄に記入してください。
4. 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットで記入し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

#### 「 職 歴 」 欄

1. すべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む)について記入し、職名、職位等について明記してください。
2. 各職歴について在職期間(年、月、日)を記入し、現職については「 現在に至る 」と明記してください。
3. 大学教員(非常勤も含む)の職歴については、主な担当授業科目名を( )で付記してください。
4. 過去において文部科学省における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(大学院にあっては、判定結果を含む。)を記入してください。

#### 「 学会及び社会における活動等 」 欄

1. 専門・研究分野に関連する事項についてのみ記入してください。
2. 学会等は、その名称、所属期間(年、月、日)、役名(評議員、会長等)を記入してください。現在所属しているものについては、「 現在に至る 」と明記してください。

#### 「 賞 罰 」 欄

1. 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

#### 「 現在の職務の状況 」 欄

1. 職名については、大学等の教員の場合は、「 教授 」 「 准教授 」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「 取締役 」 「 理事 」等の職名を記入してください。職名がない場合は「 - 」を記入してください。

2. 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

## 教育研究業績書

### 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」欄

1. 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。
2. 「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。
3. 分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。

### 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」欄

1. 「事項」の項には、各区分に該当する担当授業科目の教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
2. 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
3. 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
4. 「教育上の能力に関する事項」の例
  - 「1 教育方法の実践例」
    - 授業等における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等
    - 司法研修所等の教育機関における教育経験
  - 「2 作成した教科書、教材」
    - 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
  - 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
    - 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
  - 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
    - 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
  - 「5 その他」
    - 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
    - 国家試験問題の作成等
5. 「職務上の実績に関する事項」の例
  - 「1 資格、免許」
    - 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格で、専攻、研究分野に関連するもの。登録番号等を併記
    - 外国で取得した資格は、原語と日本語を併記
  - 「2 特許等」
    - 特許、実用新案等で、専攻、研究分野に関連するもの
  - 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例
    - 大学との共同研究
    - 各種審議会・行政委員会等の委員
    - 行政機関における調査官等
    - 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
    - 調査研究、留学、海外事情調査等
  - 「4 その他」
    - 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
    - 論文の引用実績等

### 「研究業績等に関する事項」欄

1. 修士論文、博士論文について記入してください。
2. 専門・研究分野、担当授業科目に関する教育研究業績を「著書」、「学術論文」、「その他」に区分し、発行または発表の年代の古いものから順に記入してください。

3. 「その他」の区分には、総説論文、調査報告、訳書、注釈書、作品、実技、口頭学会発表、講演等の小見出しを設けて記入してください。
4. 区分ごとに名称の頭に一連番号を付し、年月順に記入してください。  
(例: その他 訳書 1. 『〇〇の研究』)
5. 論文名等の記載は、次のとおりとしてください。
  - (和文の場合)
    - ・論文名 → 「          」で記載
    - ・雑誌名・書名 → 『          』で記載
  - (欧文の場合)
    - ・論文名 → “          ”で記載
    - ・雑誌名・書名 → イタリック体もしくは下線で記載
6. 「学術論文」には掲載許諾を得た発表予定の論文原稿を含んでかまいません。
7. 分担及び共同執筆した著書、論文等は、共著としてください。  
共著の場合は、担当部分の名称、掲載ページを明記し、さらに本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名。)を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。
8. 著書は全体のページ数を、掲載論文は掲載ページを記入してください。(例: 300頁/pp. 25-36.)
9. 著書、論文等の概要をテーマ、方法、結論等について約200字で記入してください。  
共著の場合、担当部分の概要を記入し、外国語の論文の場合の概要は、日本語で記入してください。
10. 卒業論文は記載しないでください。